

東丹沢低山縦走
高取山～仏果山～経ヶ岳

実施日 2019年2月16日(土)
 天候 曇り時々晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 島本陳重、白石恵美子、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、小名秀鋭、瀧澤きよの、峯川弘子 計8名
 費用 小田急988円(新宿駅起算)
 1,040円 計2,028円
 タイム 半原BS(8:35-8:40)撚糸組合前(8:45)高取山登山口(9:14)高取山(10:21-10:39)仏果山(11:07-12:04)革籠石山(12:35-12:51)土山峠分岐(13:00)半原越(13:17-13:27)経ヶ岳(13:45-14:06)半僧坊前BS(15:06)

宮ヶ瀬ダムに下山予定だったのを、車道歩きが長いと言う理由でコースを変更したため、歩行時間が長くなり、参加できなかった方には申し訳なかった。

撚糸組合前すぐ前の半原神社脇の松葉沢沿いに進む。バイパスの橋をくぐり、国道の高架を抜けて川沿いに山に向かって緩く登ると宮ヶ瀬ダムへの高架道の下、仏果山と高取山の登山口を分ける道標が建っている。車止めゲートから林道をわずかに登ると高取山への分岐だ。



すぐに右手の小沢を渡り、暗い檜林の中を少し登り、林道を越えようと間もなく尾根に取りつく。先週下見に来た時は結構雪が積っていたが、今日は全くない。また林道を横切り、更に登る。間もなく高取山山頂に着く。

展望台から横浜、筑波山、スカイツリー、蛭ヶ岳等が見える。風が冷たいので、そそくさと集合写真を撮り、仏果山に向かう。

宮ヶ瀬越を過ぎ、ロープのある急

登を登ると仏果山山頂だ。



展望も高取山とほぼ同じだ。ここで昼食をとって暖かくなってきた。道は50ほど戻り、高取山から登

って来た道を合わせ。岩がゴロゴロした急な痩せ尾根で緊張する。

神奈川県警が指定した丹沢周辺の危険ルートにも紹介されている所だ。所々ロープも張られている。

更に下ると革籠石山に着く。土山峠へと下って行く道を右に分け暗い杉林を下ると半原越だ。一旦山道が途切れるので、脳が「終わったぞ！」モードになってからの経ヶ岳への70



0分の急な木段は辛い。

視界が開けて、山頂か勘違いしそうな山頂直下の肩から更に少し登ると経ヶ岳の名前に因む

経石だ。(弘法大師がこの岩の南側にある穴に経文を納めたという伝説)経ヶ岳の名前の由来だ。

やっと経ヶ岳到着。山頂の標識の文字はなかなか味がある。山頂のベンチで暫し休憩し、集合写真を撮り、下山開始。

14:59のバスにはわずかの差で間に合わなかったが、15:29のバスで本厚木駅へ。今日の参加者8名中5名が6年



前の同コースの参加者だったが、全然覚えていない人が殆どだった。

頼りにしてたのに(笑)人間は辛かったことを忘れるからまた登れるんですね。

参加して下さった皆様ありがとうございました。また一緒によろしく願います!

(記・白石 恵美子)

(写真提供・伊藤久雄/石原 勝正)